

越生町男女共生フォーラム 地域の防災

～男女共同参画の視点から考える～

参加費
無料

事前申込
不要

いつの時代も災害は日常に潜んでいます。
地域には子どもや大人、女性や男性、障がいのある方、外国の方など、年齢も性別も異なる方が共に暮らしています。
いま私たちの住む地域で災害が起こったら、避難所生活はどうなるのでしょうか。
このフォーラムでは、男女共同参画の視点から、避難所運営を中心に地域の防災・減災について学びます。災害発生時よりも、平常時における地域のかかわりについて一緒に考えてみませんか。

「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」運営委員
元 復興庁職員

にわ あさこ
丹羽 麻子 氏

3月8日(土)

午前10時～11時30分(9時30分受付開始)

越生町中央公民館 視聴覚ホール



日頃からの備えが
大切だなぁ

図総務課 地域支援・防災安全担当
☎292-3121 内線217



プロフィール【にわ あさこ】
三重県男女共同参画センターで相談事業を担当したのち、東日本大震災後の福島県で避難所支援、女性相談、内閣府「被災地における女性の悩み・暴力相談事業」拠点運営に携わる。その後、復興庁、国立女性教育会館等を経て、2023年より男女共同参画センター横浜で相談センター長を務めている。

地域の結びつきを大切にしよう

災害時には予期していない問題や避難場所、家から持ち出す物等、普段落ち着いているときであればわかることも頭がパニックになってしまったりとわからなくなってしまうこともあります。また、避難するにあたりこどもの学校のお迎えや災害の情報共有等、自分一人だけでは解決できないこともできます。そのような際、地域住民同士のネットワークが防災面で発揮をしてくれます。そのため、区への加入や日頃から近隣住民へのあいさつ、近況報告等がネットワーク強化につながります。



日頃の備え

災害はいつどこで誰の身に起きてもおかしくありません。そのため、日頃から災害に備えておくことが大切になります。また、実際に災害が発生したことを想定して、イメージをしながら、家族で一度情報を共有しておくの良いでしょう。
町では災害が発生した際の避難所や避難行動の流れ(マイ・タイムライン)、地震や火災、土砂災害が発生した際の対策が記載された「越生町防災マップ」を全世帯に配布しています。また、年に1回土砂災害訓練(梅園地区)や初期消火訓練や避難所開設訓練、炊き出し訓練等を含んだ実践的な防災訓練を実施しています。ぜひ参加しましょう。



越生町防災マップ

最後に

避難所での生活では男性や女性、子どもから高齢者まで様々な人が避難してきます。しかし、避難所の運営、指示は男性がやるものと思っている方も少なくないかもしれません。そのため、誰もが安心して過ごせる避難所を運営するには偏った意見や偏見に囚われず、性的少数者といった方の意見も尊重していくことが大切になってきます。



令和6年度防災訓練の様子

令和6年度越生町男女共生フォーラムを開催します！

..... 昨年度の来場者の方の声

- 70代 女性の方 性差別に対する意識は数年前より高まりつつあると思いますが、「無意識」の行動行為は結構あると思います。このような講演を通じて意識を共有し、高めていくことの大切さを感じました。
- 70代 女性の方 すべての男女が対等な社会参画を目指すのに女性も積極性を持たなくてはならないと思いました。分かりやすい説明がよかったです。
- 40代 男性の方 フォーラムを通じて男女共同参画について考える貴重な時間になりました。ありがとうございました。

詳細は次のページにて